

## こどもや若者へのアンケートの調査設計案について

### 1. 目的

- 本調査研究で、こどもの居場所づくりに関する視点・理念のとりまとめを行うにあたり、こども自身が必要とする居場所や、こどもの視点に立った居場所が、具体的にどのような居場所なのか、こどもや若者自身の意見を踏まえて検討する必要がある。
- そこで、居場所の利用有無によらず、全国のこどもや若者から、居場所のニーズを把握することを目的とし、こどもアンケート調査を実施する。

### 2. 調査対象

- おおむね6～30歳（目標回収数：計500名以上）  
 ※6～18歳を主な対象と想定するが、調査対象となる居場所を利用する未就学児や、18歳以上の若者等が対象に含まれることも想定。
- 学校や居場所等を通じて回答してもらうなどのルートで、調査対象者への協力依頼を行うことを目指す。

回答協力目標数のイメージ

	学校や居場所等を通じた協力依頼
小1、2年生相当	100人
小3、4年生相当	100人
小5、6年生相当	100人
中学生相当	100人
高校生相当(18歳程度まで)	100人
合計	500人

### 3. 調査対象への協力依頼の方法

- 協力依頼の具体的な実施方法は、以下を想定している。

協力依頼の実施方法

協力依頼のルート	実施方法
① 学校等を通じた協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 検討会委員の中から、所属先の活動等を通じて学校等とのネットワークを有する委員に協力先をご紹介いただく</li> <li>• 関係団体ヒアリングの協力先のうち、学校等と関連性の強い団体に対し、協力を依頼する</li> </ul>
② 居場所を通じた協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 検討会委員全員にご協力をお願いし、関わりのある居場所のネットワークを通じて、協力を依頼する</li> <li>• 関係団体ヒアリングの協力先(居場所の運営団体)のうち、お声がけが可能な団体に対し、協力を依頼する</li> </ul>

#### 4. 調査実施の流れ

- アンケート調査の実施スケジュールは、おおむね以下を想定している。

2022年11月中 調査票確定、Web アンケートフォーム作成

2022年12月初旬 アンケート調査開始（回収期限：12月28日を想定）

2023年1月初旬 アンケート調査回答の最終締め切り

#### 5. アンケート調査設計にあたっての留意点

- 本調査は、内閣府が保有する web アンケートフォームを活用し、ウェブ調査として実施することを想定している。

※基本的には、ウェブでのご回答を想定しておりますが、12月前半までにご協力・ご返送頂ける場合は、紙媒体での回答も選択頂けるよう、検討させていただきます。

- 回答者の年齢等への配慮から、現案をベースに設問内容を検討後、①中高生を想定した通常版、②低年齢の児童を想定したやさしい日本語版の2種類を作成し、回答者に選んでいただく形式を想定している。
- 回答者の負担軽減と、回収率向上の観点から、こどもや若者が5分程度で回答できるボリューム感を想定している。

## こどもアンケート調査票（案）

※本アンケートは、設問内容の検討後、①中高生を想定した通常版、②低年齢の児童を想定したやさしい日本語版の2種類を作成予定でございます。

### 【web アンケートフォーム・トップページ】

#### こどもの居場所に関するアンケート調査 ご協力をお願い

この調査は、みなさんにとって、「ここに居たい」と感じられる場所（居場所）はどんなところか、どんな居場所があったらいいと思うかなどを尋ねるものです。どんなところに居ると安心するか…、だれと居ると元気になれるか…、何をしていると力が湧いてくるか…、あなたにとって居場所とを感じるものを教えてください。

みなさんの意見をもとに、居場所について考えていこうと思っています。ぜひ、あなたの声をきかせてください。

- ✓ この調査には、みなさんが、自分でお答えください。
- ✓ おうちのひとなどに手伝ってもらい回答してもかまいません。
- ✓ このアンケートは、テストではありません。また、あなたの答えを、誰かに知られることはないので、安心してあなたの気持ちや考えを、思うままに教えてください。
- ✓ 答えたくない質問は、答える必要はありません。
- ✓ だいたい5分ほどの時間がかかります。

#### 【アンケートの募集期間】

2022年●月●日（●）～2022年●月●日（●）

#### 【保護者の方／お子様の代諾者となる方へ】

- 本調査は、内閣官房より委託を受け、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が実施します。
- 本調査は、「こどもの居場所づくりに関する調査研究」の一環として、こども・若者がどのような場所を「居場所」としているのか、どのような居場所を求めているのかについて、こども・若者からの直接の声をお聞きすることを目的としています。
- お子様ができる限り自由に回答できるよう見守ってください。ただし、難しい言葉などについて、お子様から質問があった場合は、必要に応じてサポートをお願い

いします。

- 調査の実施および結果の取りまとめにあたり、お子様の個人情報（氏名など個人が特定されうる情報）を収集すること並びに公表することは一切ございません。
- 調査の結果は、本調査研究において、こどもの居場所づくりの視点・理念の検討に活用させていただきます。また、本調査研究の報告書として公表し、ホームページ等に掲載させていただく予定です。
- 調査の結果を、本調査研究の目的外に使用することはいたしません。

【問い合わせ先】 アンケートに関する質問などはこちら

みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社 社会政策コンサルティング部

「こどもの居場所に関するアンケート調査」調査事務局

電話：●●（平日 9:00～17:30）

メール：●●

## 【設問ページ】

### <回答者属性に関する設問>

（１） このアンケートを、どこから知りましたか（〇は１つ）

01. おうちのひとから
02. 学校の先生から
03. 通っている施設・団体の大人から
04. SNS(Twitter、Instagram など)から
05. ホームページから
06. その他

（２） あなたの年齢を教えてください。（〇は１つ）

01. ～9歳
02. 10～12歳
03. 13～15歳
04. 16～18歳
05. 19歳以上（おおむね30歳まで）

(3) あなたの性別教えてください。(〇は1つ)

- 01. 男
- 02. 女
- 03. どちらともいえない
- 04. 答えたくない

(4) あなたが住んでいる地域を教えてください。(〇は1つ)

- 01. 北海道
- 02. 東北地方(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)
- 03. 関東地方(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)
- 04. 中部地方(新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)
- 05. 近畿地方(三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)
- 06. 中国・四国地方(鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)
- 07. 九州地方(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)

<内容に関する設問>

(5) あなたは、普段、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる場所(居場所)がありますか。

- 01. ある
- 02. ない

※「ある」場合、(6)～(9)に回答

(6) そこは、どのような場所ですか。(〇はいくつでも)

- 01. 祖父母・親戚の家や友達の家
- 02. 習い事(スポーツ少年団等含む)や塾などの場所
- 03. 学童クラブや児童館
- 04. 公園や自然の中で遊べる場所
- 05. 図書館や公民館などの施設
- 06. ショッピングセンターやファストフードなどのお店
- 07. 地域の人が開いている遊びの場所(プレイパークなど)

08. 無料で勉強を見てくれる場所や、ご飯やおやつが無料か安く食べることができる場所
09. 悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンライン、含む)
10. オンライン空間(SNS、オンラインゲーム、オンライン匿名相談など)
11. その他(自由に書いてください: )

**(7) その場所は、どのような場所ですか。(〇はいくつでも)**

01. いつでも行きたい時に行ける
02. 長い時間を過ごせる
03. なんにもせずのんびりできる
04. 安心して過ごせる
05. ありのままでいられる、自分を否定されない
06. 好きなことをして自由に過ごせる
07. 自分の意見や希望を受け入れてもらえる
08. 自分のやりたいことにチャレンジできる
09. 自分が知らないことを知れる
10. 悩みごとの相談にのったり、サポートをしてもらえる
11. ひとりで過ごせる
12. 友達と一緒に過ごせる
13. 話を聞いてくれたり、一緒に遊んでくれる人(大人やお兄さん・お姉さん)がいる
14. いろんな人と出会える、友達が作れる
15. その他(自由に書いてください: )

**(8) その場所に行くようになって、変わったことがありますか。(〇はいくつでも)**

01. 楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった
02. 自分の気持ち(したいことや嫌なことなど)を伝えてもいいと思うようになった
03. 初めて知ったことや、おもしろいと思ったこと、好きになったことなどがあつた
04. 自分のことを大切にしてくれる人やサポートしてくれる人がいると感じるようになった
05. それまで知らなかった人、話したことがなかった人と会つた
06. 以前より、人と関わるのが好きになつた
07. 以前より、誰か困っている人がいる時、サポートするようになった



